



シーシーエスの“自然光 LED”が當麻寺伽藍三堂へ本格設置へ ～より美しくなった展示空間で、照らし出される當麻寺のみほとけ～

シーシーエス株式会社（本社：京都市上京区 代表執行役社長 各務嘉郎）が開発した“自然光 LED”を光源とする美術館・博物館用 LED スポット照明「MUSEUM COB SPOT LIGHT」が、當麻寺（奈良県葛城市）の本堂、講堂、金堂の展示用照明として本格設置され、公開が始まりました。

本堂は国宝に指定されており、講堂および金堂は重要文化財に指定されているため、文化財保護の観点から、昨年4月の春の特別拝観の際は仮設置としておりましたが、“自然光 LED”により「當麻寺のみほとけ」を鮮明に美しく見るできるようになったとの評価を得、また文化庁からの設置工事許可も下りたため、この度本格設置されることになりました。

■LEDで照らし出す當麻寺のみほとけ

當麻寺は飛鳥時代に創建され、白鳳・天平様式の大伽藍を有しており、金堂の弥勒仏や四天王などの白鳳美術をはじめとした歴史的に重要な寺宝・文化財を収蔵しています。昨年4月の特別拝観の際、伽藍三堂（本堂、金堂、講堂）の堂内に、初めて照明が設置されました。

本堂の當麻曼陀羅図厨子（国宝）や金堂の弥勒仏坐像（国宝）などがシーシーエスの“自然光 LED”に照らし出され、暗いお堂の中では見ることのできなかつた「當麻寺のみほとけ」の魅力をはっきりと見るできるようになりました。

「それまではお堂の中は暗く、日が落ちた後や天気の悪い日など、せつかく遠いところから拝観に来ていただいても仏様を見ていただくことができなかつたのが、皆さんに喜んでいただけるようになりました」と、當麻寺 奥院 川中光教住職からも高い評価をいただいております。



本堂



本堂内

■国宝・重要文化財の保存への配慮

今回の本格設置にあたり、ローム株式会社（京都市右京区）のワイヤレススイッチ“EnOceanスイッチシステム”が同時に導入されました。このワイヤレススイッチを使うことで、配線が不要になるため、お堂内の柱や木材をむやみに傷つけることなく、すっきりとした美しい展示空間に仕上がっています。

シーシーエスの“自然光 LED”は、紫励起の LED チップをベースにしており、紫色から赤色までの全ての可視光を含んでいるため、太陽光に非常に近いという特性を持っています。色の再現性を示す平均演色評価数※は Ra96 と、LED 照明業界における最高水準を実現しております。

また、文化財に光による損傷を及ぼす紫外線、赤外線など有害な波長を独自の技術でカットするなど、保存への配慮も同時に行っています。

文化財への損傷に配慮した“自然光 LED”と、建物を傷つけない“EnOcean スイッチシステム”の導入で、美しい展示空間と文化財への損傷の配慮の両方が実現できるようになりました。

シーシーエスは、作品本来の魅力を伝えるとともに、できる限り損傷を抑えることで、国宝や重要文化財を後世に残していくという寺院の使命に応えられるよう、最適な LED 照明による「光」の提案を進めてまいります。

※：平均演色評価数(Ra)とは、照明光による物体の色再現性についての良し悪しを表す代表的な指数です。ある光源のもとで、各物体の色彩が基準光源による照明とまったく同じ色彩に見える場合、その光源の Ra は 100 になります。色再現性が悪化するほど Ra の値は小さくなります。なお、Ra は色の再現性に対する忠実度を表した指数で、主観的な色の見え方に対する好ましさを表すものではありません。

■當麻寺について

飛鳥時代に創建され白鳳・天平様式の大伽藍を有する當麻寺は、金堂の弥勒仏や四天王、梵鐘などの白鳳美術を今に伝えるほか、古代の三重塔が東西一対で残る全国唯一の寺としても知られています。

○當麻寺の詳細については、以下をご覧ください。

<http://www.taimadera.or.jp>

■ ローム株式会社について

ローム株式会社（代表取締役社長 澤村 諭）は、1958年（昭和33年）設立。民生機器市場、携帯電話及び通信機器、自動車関連機器をはじめとする幅広い市場分野でシステムソリューションを展開しており、グローバルに展開している開発・営業ネットワークを通じて品質と信頼性に優れたLSIやディスクリット半導体を顧客に供給しています。

○ローム株式会社の詳細につきましてはホームページをご覧ください。

<http://www.rohm.co.jp>

■ “EnOcean Alliance” について

EnOcean Alliance は、ビルディング・セクターにおける世界中のリーディング・カンパニーが集結し形成されており、ビル内のエネルギー消費を高効率化させるソリューションを提供しています。場所を選ばず設置でき、メンテナンスコストがかからないエネルギーハーベスティング無線技術を国際的に普及させることを目指しており、OEM パートナーの製品との互換性の創出にも注力しています。そのベースとなっているのが、電力消費量が非常に少なくエネルギーハーベスティングを利用した無線ソリューションに最適な国際規格 ISO/IEC 14543-3-10 です。

ヨーロッパでは既にビルの照明用スイッチなどで40万棟以上の採用実績があり、そのアライアンスには世界のトップメーカ300社が参加。日本企業も30社以上が参加し、アジア地域での HEMS、BEMS をはじめとするセンサネットワーク普及のキーデバイスとして大きな注目を集めています。

■ シーシーエス株式会社について

シーシーエス株式会社は、1993年に京都で工業用途の検査用LED照明メーカーとして設立以来、検査用LED照明の分野ではリーディングカンパニーとして、トップシェアを誇ります。工業用途で培った照明の使い方により検査精度を高める技術「ライティングソリューション」を強みに様々な分野へ展開しています。2007年には、太陽光に近い光である「自然光LED」を開発、光の質が求められる美術館や博物館などに最適な照明を提供しています。

○シーシーエスの詳細につきましてはホームページをご覧ください。

<http://www.ccs-inc.co.jp/>

■ 本件に関するお問い合わせ ■

シーシーエス株式会社 <http://www.ccs-inc.co.jp>

経営企画部 広報・IR 担当 梶原、秋元

〒602-8011 京都市上京区烏丸通下立売上ル

TEL:075-415-8291(広報) FAX:075-415-7724 E-mail:koho@ccs-inc.co.jp